

平成28年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	1	防災体制・防災活動拠点の強化
目的	市が保有する施設や設備の耐震化、雪害や地震に備えた都市インフラの防災・減災対策、市民の自主防災活動の支援等を通じて、火事などの人災の発生抑制と自然災害発生時の被害の最小化に努めます。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29
統計	防災訓練実施件数	区	-	36	34		66
統計	地区避難所運営マニュアルの策定数	地区	-	1	1		10
統計	デジタル移動系防災行政無線の整備率	%	-	0.0	100		100.0
統計	消防団員の充足率	%	-	99.0	100.0		100.0
市民	地域において自主防災組織の活動が活発に行われていると感じる市民の割合	%	-	50.9	40.7		52.0
市民	消防・救命救急活動が迅速かつ適切に行われていると感じる市民の割合	%	-	57.6	50.7		59.0
その他 成果							

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み④	自然災害対策の推進								
手段	気候変動に起因する自然災害に対応するため、危険箇所や想定被害の把握に努めるとともに、水害対策や河川の整備、砂防や急傾斜地、雨水排水施設の整備などの適切な対策を講じていきます。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	公共下水道雨水幹線整備事業 ※	下水道課	7,000	56,000	30,000 101,000		縮小	縮小	⑥

取り組み⑤	住宅等の耐震化の促進及びライフライン等の耐震化の推進								
手段	耐震化が進んでいない住宅の所有者に対して耐震補強工事の実施を促すとともに、補助金交付などを行います。また、上下水道施設の耐震化の整備を推進します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	基幹施設耐震化推進事業 ※	上水道課	0	0	0		-	-	-
2	送水施設整備事業 ※	上水道課	3240 4800	42,000	0		維持	維持	⑤
3	配水施設整備事業 ※	上水道課	79930 76915	168,000	133,000 98,000	○	拡充	拡大	①
4	下水道施設耐震化推進事業 ※	下水道課	44,000	103,000	100,000 132,000	◎	縮小	縮小	⑥

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	・管路耐震化計画に基づく配水管の更新による耐震化の推進。 ・浸水被害地の解消や、地震時などによる被災に対する安全度を高めるために、施設の耐震化及びバックアップ対策を図る。
(2) 事業の重点化	・配水施設整備事業の配水管の耐震化を推進する。 ・平成28年度は、ゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の快適な市街地を創出するため、「奈良井川右岸3-1号雨水幹線」は工事に着手し、「田川左岸3-1号雨水幹線」については国土交通省の国道19号拡幅工事と調整を図り工事を計画的に推進する。 ・災害時に下水道が最低限有すべき機能を確保するために、管路施設の耐震化工事、処理施設の調査設計の重点化を図る。
(3) 役割分担の妥当性	・災害時等のライフライン確保の取組を行う。 ・「公共下水道雨水幹線整備事業」「下水道施設耐震化推進事業」は他事業との調整や計画的な事業取り組みが必要である。また、施設整備に多額の費用を必要とすることから県を通じて国庫補助金の確保を図る。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和晃敏

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道雨水幹線整備事業 ※公営企業会計				担当課	下水道課		
概要	対象:	市民				体系	B-6-1-4	
	手段:	奈良井川右岸3-1号、田川左岸4号及び田川左岸3-1号雨水幹線工事を計画的に行う。				新/継	継続	
	意図:	局地的なゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の安全で快適な市街地の創出を図る				区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○奈良井川右岸3-1号 ○実施設計 □1200 L=120m		○奈良井川右岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=120m ○雨水附帯工及び支障物件補償		○田川左岸4号 ○実施設計 ○田川左岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=200m ○雨水附帯工及び支障物件補償			
財源	決算額 (千円)	10,800	予算額 (千円)	56,000	計画額 (千円)	30,000 101,000		
	奈良井川右岸3-1号	10,800	奈良井川右岸3-1号	56,000	田川左岸4号	30,000 15,000		
					田川左岸3-1号	0 86,000		
	特定	10,800	一般	0	特定	30,000 101,000	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
奈良井川右岸3-1号整備率(%)	0	16	11	0		100			
田川左岸3-1号整備率(%)									100
田川左岸4号整備率(%)									2

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥	レ	
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				なし												
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				田川左岸3-1号雨水幹線工事は国道19号九里巾交差点改良工事と同時施工予定である。用地買収が遅れているが、国の動向に注視する必要がある。												
第1次評価コメント				提案の通り実施すること												
第2次評価コメント				特になし												

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	担当係長	氏名	赤津 清孝	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	基幹施設耐震化推進事業 ※公営企業会計						担当課	上水道課										
概要	対象:	上水道を使用する市民						体系	B-6-1-5									
	手段:	応急給水拠点の整備、施設の耐震化を実施し、災害時における飲料水を確保する。						新/継	継続									
	意図:	地震災害に強い水道事業の構築、災害時の飲料水等確保する。						区分	ハード									
年度別 事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)									
					○吉田地区候補地選定				○吉田地区井戸調査									
財源	決算額		(千円)		0		予算額		(千円)		0		計画額		(千円)		0	
	特定	0	一般	0	特定	0	一般	0	特定	0	一般	0	特定	0	一般	0		

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
候補地選定						1			
井戸調査									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の 方向性	拡充	④	②	①		
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		現状維持	③	⑤			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥				
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小	現状維持	拡大
												コスト投入の方向性						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等																		
新年度の予算要求事項(改革・改善案)																		
第1次評価コメント																		
第2次評価コメント																		

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	送水施設整備事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課				
概要	対象: 上水道を使用する市民			体系	B-6-1-5				
	手段: バックアップ体制強化。断水リスクの低減を図るため、配水区域を連結する水系間連結管の整備を行う。			新/継	継続				
	意図: 水道水の安定供給を図る。			区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	○柿沢長井坂送水ポンプ			○柿沢長井坂送水ポンプ					
財源	決算額	(千円)	3,240	予算額	(千円)	42,000	計画額	(千円)	0
	送水ポンプ設計委託		3,240	送水ポンプ更新		42,000			
	特定	3,240	一般	0	特定	42,000	一般	0	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
委託発注数	1	1	1						
送水ポンプ更新				1		1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	レ	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦				
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		送水する東山水系水道システムとの整合性を図る。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		特になし																
第1次評価コメント		特になし																
第2次評価コメント												-						

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	配水施設整備事業 ※公営企業会計		担当課	上水道課			
概要	対象:	上水道を使用する市民			体系	B-6-1-5	
	手段:	石綿・ビニール管の配水管は耐震性が低いため、配水管の新設・改良を行う。			新/継	継続	
	意図:	水道水の安定供給を図る。			区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)		
	○配水管改良		○配水管改良		○配水管改良		
財源	決算額 (千円)	79,930	予算額 (千円)	168,000	予算額 (千円)	148,000	
	配水管改良	71,398	配水管改良	90,000	配水管改良	98,000	
	都市計画事業関連	4,752	流量計設置	70,000	雨水関連事業	90,000	
	設計委託	3,780	雨水関連事業	8,000	調査設計委託	8,000	
	特定	79,930	一般	0	特定	148,000	一般
					98,000		

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
配水管改良延長	1628.2	1700	1713	930		1200			1200

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												コスト投入の方向性					
交付金の導入を図るため、管路耐震化計画の修正が必要。																	
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												北部地域拠点建設に伴う配水管撤去・新設のため、増額要求する。					
第1次評価コメント												提案の通り実施すること。					
第2次評価コメント												特になし					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	係長	氏名	青木尚武	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	鳥 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道施設耐震化推進事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-1-5
	手段:	災害時の緊急輸送路および下水道が最低限有すべき機能を確保するための地震対策計画を策定し、下水道施設の耐震化を行う。			新/継	継続
	意図:	下水道処理施設および緊急輸送路における下水道施設の耐震化を図り、地震等による災害リスクを低減するための事業である。			区分	ハード
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	管路施設 ○調査・設計(耐震診断含む)1.0式 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式		管路施設 ○可とう性継手設置 ○マンホール浮上防止 ○調査・設計(耐震診断含む)1.0式 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式		管路施設 ○可とう性継手設置 ○マンホール浮上防止 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式 ○耐震診断・詳細設計・耐震補強-1.0式 ○可とう性継手設置-9ヶ所 その他施設 ○マンホールトイレ9基 ○仮設ポンプ8台 ○防災倉庫1棟	
財源	決算額	(千円) 計 9,960	予算額	(千円) 計 103,000	計画額	(千円) 計 100,000 132,000
	管路施設 調査・設計	0	管路施設 耐震化工事	88,000	管路施設 耐震化工事	100,000
	処理施設 調査・設計	9,960	処理施設 調査・設計	15,000	処理施設 耐震診断	0 4,000
			(繰越分) 管路調査設計 32,286千円		処理施設 耐震化工事	0 13,000
	特定	9,960	一般	0	特定	100,000 132,000
					一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管路施設耐震化工事進捗率(%)	0	0	9	9		33			61
処理施設耐震化工事進捗率(%)	3	6	6	6		15			25

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性			有効性				効率性					成果の方向性	④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤	レ
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥	レ	
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				C								皆減 縮小 現状維持 拡大				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				本年度、社会資本整備総合事業の補助金の内示がないため、事業に着手できない。												
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				このまま、国庫補助金の内示がない場合、本年度事業の事業を次年度へ先送りし、総合地震対策計画期間を2年延長したい。												
第1次評価コメント				提案の通り実施すること。												
第2次評価コメント				特になし												
コスト投入の方向性																

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	主任	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	2	都市インフラの長寿命化・再構築と公共施設等の維持管理の最適化
目的	道路、橋梁、上下水道、ごみ処理施設、公共施設等の適切な維持管理による長寿命化と長期的視点に立った統廃合等の検討を進め、適切な管理運営と施設配置を推進します。また、ごみの減量化やリサイクルを促進するとともに、民間が所有する空き家や空地の有効活用と都市基盤の集約化を進めます。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値	
		H25	H26	H27	H28	H29	H29	
統計	橋梁長寿命化修繕計画による修繕箇所数(橋梁)	箇所	-	16	17			18
統計	鉛製給水管の解消率	%	-	73.9	82.8			100.0
統計	長寿命化計画による管更生延長(ヒューム管・陶管)	m	-	88	88			796
統計	公共施設の除却、統合件数(累計)	施設	-	0	8			14
統計	ごみの資源化率	%	26.0	-	28.5			30.0%以上
市民	ごみの減量に向けた分別やリサイクルが盛んであると感じる市民の割合	%	-	69.6	69.4			75.0
市民	ごみ処理のための施設が整備されていると感じる市民の割合	%	-	53.3	58.6			55.0
統計	家庭系もえるごみ量(市民1人1日当たり)	g/人日	345	-	337			340
統計	事業系もえるごみ量	t/年	6,927	-	7,040			6,420
統計	塩尻駅北地区の区画整理事業の進捗度	%	-	0.0	2.7			7.4
統計	優良建築物等整備事業による集合住宅整備戸数	戸	-	0	0			18
その他 成果								

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み②	上・下水道施設の機能維持と増進による水道水の安定供給と不断の下水処理								
手段	水道水の安定供給や不断の下水処理を行うため、施設の適正な維持管理、計画的な改築・更新を推進します。加えて、上水道事業では、小規模施設などの統廃合、水道システムの再構築による最適化、簡易水道事業の統合等を進めます。下水道事業では、処理施設や管路施設の長寿命化、下水道基本構想の策定などを進めます。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	片丘浄水場移設更新事業 ※	上水道課	121,600				-	-	-
2	東山水系水道システム再構築事業 ※	上水道課	43,296	113,000	152,000		維持	維持	⑤
3	浄水施設整備事業 ※	上水道課	38,418	40,500	40,300		維持	維持	⑤
4	浄水施設改修事業 ※	上水道課		15,000	15,000	-	-	-	-
5	鉛製給水管解消事業 ※	上水道課	109,864	104,880	123,880 104,880	○	拡充	拡大	①
6	吉田地区排水施設整備事業 ※	上水道課		297,456	1,126,200				新規
7	三才山沢排水池施設整備事業 ※	上水道課		72,780	5,200				新規
8	水道ビジョンフォローアップ事業 ※	上水道課	15,020			-	-	-	-
9	簡易水道事業の水道事業への統合	経営管理課	5,100	4,300			維持	維持	⑤
10	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※	下水道	264,870	246,000	329,600 554,000	◎	縮小	縮小	⑥
11	下水道ストックマネジメント計画事業 塩尻市浄化センター第2期長寿命化事業 ※	下水道		11,000	0 10,000		縮小	縮小	⑥
12	小野特環公共下水道長寿命化事業 ※	下水道		22,300	45,400 64,600		縮小	縮小	⑥
13	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※	下水道	6,992	47,100	41,900 66,700		縮小	縮小	⑥
14	公共下水道汚水管路整備事業 ※	下水道	31,910	40,600	119,600 40,600		拡充	拡大	①
15	終末処理施設改修事業 ※	下水道	43,882	60,400	67,850 63,900		拡充	拡大	①
16	排水処理施設改修事業 ※	下水道	20,644	21,260	16,700	-	-	-	-
17	マンホールポンプ場改修事業(公共下水道事業) ※	下水道	21,750	20,590	18,950 14,540	-	-	-	-
18	マンホールポンプ場改修事業(農業集落排水事業) ※	下水道	7,803	9,720	7,310	-	-	-	-
19	下水道基本構想策定事業 ※	下水道	0			-	-	-	-
20	生活排水処理場効率化推進事業 ※	下水道		12,000	12,000	-	-	-	-
21	衛生センター長寿命化事業	下水道	19,948	21,800			維持	維持	⑤
22	合併処理浄化槽設置事業	下水道	3,935	3,232	予算対応		維持	維持	⑤

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管解消事業は平成29年度完了に向け着実に進捗を図る。東山水系水道システム再構築事業の進捗を図る。 下水道施設で老朽化の著しい施設、設備を対象に改築・更新を実施し、延命化やLCCの削減を図る。
(2) 事業の重点化	<ul style="list-style-type: none"> 鉛製給水管100%解消の確実な進捗。東山水源のクリプトスポリジウム汚染の不安が高まっており早期供用に向けた進捗を図る。 塩尻市浄化センターは、供用開始から30年以上経過し各設備の老朽化が著しいため、平成28年度は長寿命化事業により自家発電設備受変電設備の改築・更新を行い施設の機能保全を図る。また、下水道長寿命化事業では、老朽化した管路施設を対象に管更生工事、管更生実施設計を行い管路施設の延命化やLCCの低減を図るとともに事故防止、機能停止を図る。
(3) 役割分担の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 適正な施設管理・更新を行い、安心・安全な水道水の安定供給を図る。 施設整備に多額の費用を要することから県を通じて国からの補助金の確保を図る。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和晃敏

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	東山水系水道システム再構築事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課							
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-2-2					
	手段:	小規模分散施設を統廃合し、水道システムの最適化、水質に不安のある東山水源を廃止し、松塩水道用水の水系に切替える。				新/継	継続					
	意図:	水道水の安定供給、水道システムの最適化によるLCCの低減を図る。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)					
	○東山配水池			○東山配水池			○東山配水池配水管					
財源	決算額	(千円)	43,296	予算額	(千円)	113,000	計画額	(千円)	152,000			
	送配水管布設		31,946	送・配・排水管布設		14,000	配水管布設		17,000			
	調査、設計業務		10,538	配水池築造		99,000	送水ポンプ場築造		70,000			
	用地取得、補償		812				電気計装設備		65,000			
	特定	43,296	一般	0	特定	113,000	一般	0	特定	152,000	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
布設延長	1,000	1,177	1,000						
配水池築造				1		1			
送水ポンプ場築造									1
電気計装設備									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	レ	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし						
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												システム再構築の進捗を図るため、計画額を要求する。						
第1次評価コメント												特になし						
第2次評価コメント												-						

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	浄水施設整備事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課						
概要	対象:	上水を使用する市民				体系	B-6-2-2				
	手段:	耐用年数を経過した施設の更新・新設を行う。				新/継	継続				
	意図:	水道水の安定供給を図るための事業である。				区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)				
	○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○塩嶺地区施設整備 ○上水道集中監視施設整備 ○流量計・水位計整備			○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○配水池計装盤整備 ○流量計・水位計整備			○床尾浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○流量計・水位計整備				
財源	決算額	(千円)	38,418	予算額	(千円)	40,500	計画額	(千円)	40,300		
			38,418	施設整備		40,500	施設整備		40,300		
	特定	38,418	一般	0	特定	40,500	一般	0	特定	40,300	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
施設の整備	4	6	7	3		7			7

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	レ	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												計画に沿って施設の更新・新設を進めていく。					
第1次評価コメント																	
第2次評価コメント																	

○事後評価

区分	年間(4月~3月)															
取組内容																
成果																
課題																

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主査	氏名	百瀬 等	連絡先(内線)	1219
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	鉛製給水管解消事業 ※公営企業会計				担当課	上水道課					
概要	対象: 鉛製給水管を給水装置として使用している市民				体系	B-6-2-2					
	手段: 計画的な鉛製給水管の解消を行う。				新/継	継続					
	意図: 健康被害の防止、不安の解消、漏水防止による有収率の向上に資する。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)				
	○鉛製給水管解消			○鉛製給水管解消			○鉛製給水管解消				
財源	決算額	(千円)	109,864	予算額	(千円)	104,880	計画額	(千円)	123,880		
	工事費		109,864	工事費		104,880	工事費		104,880		
	特定	109,864	一般		特定	104,880	一般	0	特定	123,880	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
鉛製給水管解消率(%)	82.2%	82.8	82.3%	90.3		91.1%			100%

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				C							コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等											労務単価上昇や施工箇所が点在等の施工条件により工事費が増額している。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)											最終年度であり、施工単価上昇を踏まえ増額要求する。					
第1次評価コメント											提案の通り実施すること。					
第2次評価コメント											-					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)									
取組内容										
成果										
課題										

作成担当者	部課等 水道事業部上水道課	職名	主事	氏名	坂田 孝一	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等 水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	吉田地区配水施設整備事業 ※公営企業会計		担当課	上水道課						
概要	対象:	上水道を使用する市民		体系	B-6-2-2					
	手段:	上水道施設の新設		新/継	新規					
	意図:	水道水の安定供給を図る。		区分	ハード・ソフト					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)					
			○測量設計委託 ○用地買収 ○配水池築造工事 ○管理施設建築工事 ○機械設備工事 ○電気設備工事		○送水管工事 ○配水池築造工事 ○管理施設建築工事 ○機械設備工事 ○電気設備工事 ○補償費 ○負担金					
財源	決算額	(千円)	予算額	(千円)	297,456	計画額	(千円)	1,126,200		
			測量設計委託	53,200	送水管工事	225,450				
			用地費	23,256	配水池築造工事	399,200				
		配水池築造工事	99,800	管理施設建築工事	199,200					
		管理施設建築工事	49,800	機械設備工事	66,400					
		機械設備工事	16,600	電気設備工事	199,200					
		電気設備工事	54,800	補償費	6,750					
		(9月補正対応)		負担金	30,000					
	特定	一般	特定	297,456	一般	0	特定	1,126,200	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
施設の整備				1		1	1		1

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性				
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		④	②	①	レ
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		現状維持	③	⑤	
													縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				C								皆減	縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		セイコーエプソン(株)広丘事業所拡張に伴う上水道供給要望に対応するため。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		事業進捗を図るため計画額を要求する。														
第1次評価コメント		提案の通り実施すること。														
第2次評価コメント		特になし														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等 水道事業部上水道課	職名 係長	氏名 青木尚武	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	三才山沢配水地施設整備事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課					
概要	対象:	上水を使用する市民				体系	B-6-2-2			
	手段:	耐用年数を経過した施設の更新・新設を行う。				新/継	新規			
	意図:	水道水の安定供給を図るための事業である。				区分	ハード			
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)					
			○三才山沢配水池施設整備		○三才山沢配水池施設整備					
財源	決算額	(千円)		予算額	(千円)		計画額	(千円)		
				72,780	72,780	5,200	5,200	5,200	5,200	
				三才山沢深井戸掘削工事 48,900 三才山沢深井戸ポンプ工事 23,880	既設深井戸ポンプ更新	5,200		5,200		
	(12月補正対応)									
	特定	一般	特定	72,780	一般	0	特定	5,200	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
三才山沢深井戸掘削工事				0		1			
三才山沢深井戸ポンプ工事				0		1			
既設深井戸ポンプ更新									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		経年劣化により揚水施設機能が低下しており、早急な更新が必要である。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		12月補正により対応するとともに、次年度の追加計上が必要。																
第1次評価コメント		提案の通り実施すること。																
第2次評価コメント		特になし																

○事後評価

区分	年間(4月～3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主査	氏名	百瀬 等	連絡先(内線)	1219
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	簡易水道事業の水道事業への統合			担当課	経営管理課				
概要	対象:	上水道を利用する市民			体系	B-6-2-2			
	手段:	事業統合に係る事務処理、一般会計繰入金協議、料金体系統一、例規整備などを実施し、簡易水道事業を水道事業へ統合する。						新/継	継続
	意図:	経営基盤の強化を図り、安定性・持続性を高め、持続可能な水道事業を構築する。				区分	ソフト		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	○資産調査・整理 ○関係機関との事前調整 ○一般会計繰入金の協議 ○利用者への説明			○資産台帳の作成 ○開始貸借対照表の作成 ○例規整備 ○料金体系の統一 ○利用者への周知 ○統合事業での予算編成 ○打切り決算 ○統合に係る事業変更届出 ○簡易水道事業の廃止届 ○事務引継			/		
財源	決算額 (千円)	5,100	予算額 (千円)	4,300	計画額 (千円)				
	マッピングシステム構築委託料	5,100	開始貸借対照表等作成業務	1,650					
			料金システムカスタマイズ	1,820					
		資産台帳システム構築	830						
特定	5,100	一般	特定	4,300	一般	0	特定	一般	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
利用者への説明会の開催数	1	5	6	0		0			
利用者へ周知するための広報等の発行回数						2			

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④		②		①
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↳	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大		
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		特になし。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		簡易水道事業統合後の水道事業への一般会計繰入金については、総務省の繰出基準内では統合前の簡易水道事業において財源不足が生じるため、激変緩和措置として、繰出基準以外の繰入金も予算を要求していく。															
第1次評価コメント		特になし															
第2次評価コメント		特になし															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長補佐	氏名	矢ヶ崎 小百合	連絡先(内線)	1222
最終評価者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長	氏名	細井 良彦	連絡先(内線)	1210

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※公営企業会計			担当課	下水道課					
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2				
	手段:	施設の長寿命化に基づき、機械設備等の更新を行う。			新/継	継続				
	意図:	機能停止などの未然防止による処理機能の保全、施設の延命化・LCCの低減を図る。			区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)			
	長寿命化実施設計 ○管理棟・機械棟改修(建築・建築機械・建築電気) ○沈砂池・ポンプゲート類 ○受変電・自家発電設備長寿命化工事 ○汚泥脱水機設備(No.1脱水機更新、No.3No.4貯留槽防食塗装・攪拌機更新他)			長寿命化工事 ○消火災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○沈砂池ポンプゲート設備 ○自家発電設備 ○その他 ○受変電設備・監視制御装置			長寿命化工事 ○消火災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○受変電・自家発電設備 ○監視制御装置			
財源	決算額	(千円)	264,870	予算額	(千円)	246,000	計画額	(千円)	329,600	
	長寿命化実施設計		12,870	消防災害防止設備		4,000	消防災害防止設備		9,000	
	長寿命化工事		252,000	管理棟・機械棟		18,000	管理棟・機械棟		67,400	
				機械棟耐震補強		20,000	機械棟耐震補強		70,000	
				沈砂池ポンプゲート設備		18,000				
				自家発電設備		52,000				
				受変電設備・監視制御設備		132,500	受変電・自家発電設備・監視制御設備		406,000	
特定	264,870	一般	0	特定	246,000	一般	0	特定	329,600	
								554,000	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
長寿命化事業進捗率(%)	33.3	32.2	33.3	48.7		53.8			100

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①			
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥	⑦				
総合評価判定								総合評価					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												C				コスト投入の方向性			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												社会資本整備総合交付金事業補助金が要望額より減額された内示額であるため、機械棟耐震化等の事業が未着手となっている。債務負担行為による2箇年の事業であり、補助金の増額要望も難しい。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												来年度以降の補助金についても、債務負担行為の義務額でさえ大変厳しい状況であるため、計画全体期間(H25~H29)を2年延長したい。また、補助金の確保のため県を通じて国に対して事業の必要性を強く働きかける必要がある。							
第1次評価コメント												提案の通り実施すること。							
第2次評価コメント												特になし							

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	塩尻市下水道ストックマネジメント計画事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2
	手段:	下水道のストックマネジメント計画に基づき、管路・処理場機械設備等の更新等を行う。 施設の長寿命化に基づき、機械設備等の更新を行う。			新/継	継続
	意図:	老朽化した管路施設等の管更生や処理場の処理機能の保全・施設の延命化による事故防止・機能停止の未然防止とLCC低減を図る。 機能停止などの未然防止による処理機能の保全、施設の延命化・LCCの低減を図る。			区分	ハード
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
			○基礎調査、詳細調査、健全度評価		長寿命化方針検討、計画策定	
財源	決算額	(千円)	予算額	(千円)	計画額	(千円)
				11,000	0	10,000
				0	0	10,000
	特定	一般	特定	0	一般	0
			11,000	0	10,000	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
長寿命化事業進捗率(%)				0		52.4			

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性			有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥	レ	
総合評価判定			総合評価									休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討			C									皆減	縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		平成28年4月1日付け、国からの事務連絡により、下水道ストックマネジメント支援制度が創設され、下水道長寿命化支援制度の新規計画は平成27年度以前に着手していた計画のみとなったことに伴い、新規の長寿命化事業自体が実施できなくなったため、事業をストックマネジメント計画に移行する必要が生じた。また、第1期長寿命化事業の計画期間の延長することに伴い、事業の実施時期を2年先送りし、平成30年度からとする必要がある。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		皆減する														
第1次評価コメント		提案の通りとする。														
第2次評価コメント		特になし														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※公営企業会計			担当課	下水道課						
概要	対象:	下水道を使用する市民				体系	B-6-2-2				
	手段:	老朽化した管路施設等の管更正等による事故防止・機能停止の未然防止を図るとともに施設の延命化を図る。				新/継	継続				
	意図:	下水道管路施設等の事故防止、施設の延命化・LCCの低減				区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)				
	長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=50基 ○管更生工事実施設計 L=580m			長寿命化工事 ○管更生工事 L=560m ○管更生工事実施設計 L=760m			長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=3基 ○管更生工事 L=550m L=900m				
	決算額 (千円) 6,992			予算額 (千円) 47,100			計画額 (千円) 41,900 66,700				
財源	長寿命化工事 296			長寿命化工事 41,500			長寿命化工事 41,900 66,700				
	調査・設計業務 6,696			調査・設計業務 5,600							
	特定	6,992	一般	0	特定	47,100	一般	0	特定	41,900 66,700	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管更生工事延長(m)	0	0	0	0		560			1,460

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥	⑦	
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等											社会資本整備総合交付金事業補助金の内示がないため未着手である。このまま内示がなければ事業を来年へ先送りせざるを得ない。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)											平成28年度要望分の補助金が交付されない場合、計画全体期間(H27~H31)を1年延長したい。また、補助金確保のため県を通じて国に対して事業の必要性を強く働きかける必要がある。					
第1次評価コメント											提案の通り実施すること。					
第2次評価コメント											-					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	主任	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道污水管路整備事業 ※公営企業会計			担当課	下水道課				
概要	対象：下水道を使用する市民			体系	B-6-2-2				
	手段：下水道未整備区域の污水管等の下水道施設整備及び整備済区域の改修を行う。			新/継	継続				
	意図：公共水域の水質保全と、衛生的で快適な生活環境を図る。			区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(太田 汚水支線) 対象延長L=320m			○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(高出 汚水支線) 対象延長L=100m			○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(高出 汚水支線) 対象延長L=100m ○汚水支線工事(EPSON関連) L=200m ○汚水支線設計(駅北関連) L=3,000m ○汚水樹移設工事(電線共同溝関連)N=20箇所		
	決算額 (千円) 31,910			予算額 (千円) 95,540			計画額 (千円) 119,600		
財源	汚水支線工事 16,372			汚水支線工事 10,000			汚水支線工事 10,000		
	汚水樹設置工事 14,974			汚水樹設置工事 10,000			汚水樹設置工事 10,000		
	私設ポンプ補助 564			私設ポンプ補助 600			私設ポンプ補助 600		
汚水支線敷設替工事 0			汚水支線敷設替工事 20,000			汚水支線敷設替工事 20,000			
汚水支線工事(繰越) 54,940			汚水支線工事(繰越) 54,940			汚水支線工事(EPSON関連) 35,000			
						汚水支線設計(駅北関連) 29,000			
						汚水樹移設工事(電線共同溝関連) 15,000			
特定 31,910 一般 0			特定 95,540 一般 0			特定 119,600 一般 0			
						40,600 0			

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
要望に対する污水管等整備率(%)	22	19	45	24		73			100
污水管敷設替延長(m)	0	0	320	176		420			520

○事中評価

評価視点												今後の方向性									
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①					
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤						
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥							
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦							
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				皆減	縮小	現状維持	拡大		
当年度開始後、約6ヶ月が経過した新たに生じた問題等												塩尻駅北区画整理事業、EPSON新工場建設、大門八番町電線共同溝事業の熟度の高まりにより、下水道課で整備すべき管路が明確になったため、事業主体と協調して污水管整備を行う必要がある。									
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												区画整理等、他事業のスケジュールにあわせ多額の事業費確保が必要。									
第1次評価コメント												提案の通り実施すること。									
第2次評価コメント												特になし									

○事後評価

区分	年間(4月~3月)											
取組内容												
成果												
課題												
作成担当者	部課等	水道事業部下水道課			職名	事務員		氏名	遠藤 大珠		連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課			職名	課長		氏名	保科 正明		連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	終末処理施設改修事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課					
概要	対象:	下水道を使用する市民		体系	B-6-2-2				
	手段:	電気設備及び、機械設備の部品交換工事		新/継	継続				
	意図:	機能停止や事故などの未然防止		区分	ハード				
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)				
	塩尻市浄化センター ○電気設備 ○主ポンプ設備 ○沈砂池設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備				
財源	決算額	(千円)	43,882	予算額	(千円)	60,400	計画額	(千円)	67,850
	塩尻市浄化センター		41,120	塩尻市浄化センター		55,070			62,210
	檜川浄化センター		2,762	檜川浄化センター		5,330	塩尻市浄化センター		59,940
							檜川浄化センター		3,990
	特定	43,882	一般	0	特定	60,400	一般	63,900	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
終末処理施設事業進捗率(%)	30.5	24.5	30.5	63.2		64.3			100

○事中評価

評価視点											今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①
1	②	3	4	1	②	3	4	1	2	③		4	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												コスト投入の方向性			
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												最適な将来計画にするために随時見直しを行っていく。			
第1次評価コメント											提案の通り実施すること				
第2次評価コメント											特になし				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	衛生センター長寿命化事業		担当課	下水道課				
概要	対象:	し尿処理施設を必要とする市民			体系	B-6-2-2		
	手段:	塩尻市衛生センターの適切な維持管理のために機械設備の点検、修繕を実施し効率的な施設稼働を行う。			新/継	新規		
	意図:	公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図る。			区分	ハード		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)	
	○電気設備			○電気設備				
財源	決算額	(千円)	19,764	予算額	(千円)	21,800	計画額	(千円)
			19,764			21,800		
	特定	18,700	一般	1,064	特定	20,700	一般	1,100

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
電計設備更新	0	0	0	0		1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	⑥
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												経年劣化に伴う不測の修繕箇所が生じている。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												衛生センターの将来像、施設のあり方、施設規模を検討し、施設を再構築する時期となりつつある。				
第1次評価コメント												特になし。				
第2次評価コメント												-				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	合併処理浄化槽設置事業				担当課	下水道課						
概要	対象:	合併処理浄化槽を必要とする市民				体系	B-6-2-2					
	手段:	公共用水域の水質保全を図り、衛生的で快適な生活環境を創出するという課題があるので、合併処理浄化槽の整備を行う。				新/継	継続					
	意図:	公共用水域の水質保全と、衛生的で快適な生活環境を図る。				区分	ソフト					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○合併処理浄化槽設置費補助				○合併処理浄化槽設置費補助				○合併処理浄化槽設置費補助			
財源	決算額	(千円)	3,935	予算額	(千円)	3,232	計画額	(千円)				
	合併処理浄化槽設置費補助		3,935	合併処理浄化槽設置費補助		3,232	予算対応					
	特定	893	一般	3,398	特定	664	一般	2568	特定	一般		

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
合併処理浄化槽設置基数(基)	1	3	4	3		3			3

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	↳	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				A								コスト投入の方向性						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		申請に基づく事業であることから、合併浄化槽の設置予定基数、人槽の把握が難しく計画的な整備が困難。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		当初設置予定基数より設置基数が増えた場合、また、当初予定していた人槽より規模の大きい浄化槽設置の申請があった場合等、当初予算内での対応が困難になった場合は補正予算にて対応が必要。																
第1次評価コメント		特になし																
第2次評価コメント		—																

○事後評価

区分	年間(4月~3月)			
取組内容				
成果				
課題				

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	事務員	氏名	遠藤 大珠	連絡先(内線)	1215
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成28年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	住みよい持続可能な地域の創造
重点プロジェクト	6	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
施策	3	行政機能の効率化の検討
目的	本戦略の適正な進捗管理を行うとともに、職員の政策立案能力の向上等の人材育成、アウトソーシングも含めた適正な定員管理と人員配置、持続可能な財政運営等を進めることで、効率的、効果的な行政経営を推進します。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29
市民	職員の対応に好感を持つことができると感じる市民の割合	%	—	53.8	58.6		58.0
市民	市民による行政サービスの満足度(窓口対応)	%	—	81.6			86.0
統計	嘱託員に係る人件費(報酬総額)	円	—	12億4,100万円	10億2,454万円		11億5,800万円
統計	第五次総合計画施策指標の達成率	%	—	0	—		100
統計	将来負担比率	%	49.9	—	43.7		100%以内
統計	実質公債費比率	%	7.4	—	7.2		12.5%以内
統計	市税の収納率	%	95.35	—	96.51		95.50
その他 成果							

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み③	職員の育成と人員配置の適正化								
手段	職員としての資質向上と、評価制度の改善により質の高い行政サービスの確保を図ります。また、適正な定員管理と人員配置に努めるとともに、民間活力を導入して行政サービスの維持、効率化を目指します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※	経営管理課		11,020	107,892 109,300	◎	拡充	維持	②
2	浄水施設管理委託事業 ※	上水道課			0 86,200		—	—	—
3	し尿処理施設管理費	下水道課	29,054	10,800	10,800	○	維持	維持	⑤

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	・平成29年度は、民間が持つノウハウを積極的に活用し、使用者サービス向上と業務の効率化、併せて適正な人員配置の実現に向けて、料金等賦課徴収業務の委託を開始する。また、衛生センターの施設管理業務を引続き民間へ委託する。
(2) 事業の重点化	・平成28年度は、民間が持つノウハウを積極的に活用し、使用者サービス向上と業務の効率化、併せて適正な人員配置の実現に向け、「水道料金等賦課徴収業務委託事業」を最重点化事業とし、プロポーザル方式による委託先の決定と業務を履行する事務所等の整備を行い、平成29年4月の民間委託開始を目指すほか、衛生センターの施設管理業務を民間へ委託した。
(3) 役割分担の妥当性	・上下水道事業においては、技術職員の退職等により技術力の確保が困難となりつつあることから、民間業者を積極的に活用し技術力を確保することが必要となっている。将来的には、上下水道事業の施設管理や運転管理などの業務全般を包括して委託することによる効率的な事業運営を目指していく。

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部経営管理課	職名 課長	氏名 細井 良彦
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和 晃敏

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※公営企業会計			担当課	経営管理課			
概要	対象:	上・下水道を使用する市民			体系	B-6-3-3		
	手段:	委託業務内容を精査し、プロポーザル方式により業者を選定し、引継ぎ期間を設けスムーズな業務移行を行う。			新/継	継続		
	意図:	専門性による事務効率の向上と良質な市民サービスを提供する。			区分	ソフト		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○委託業務内容の精査 ○事務所の場所の選定 ○プロポーザル公募要領作成 ○審査基準作成		○プロポーザル実施 ○仮契約 ○新事務所改修設計・工事 ○業務移行準備(平成28年10月～29年3月)		○本稼働(民間委託開始)			
財源	決算額	(千円)	予算額	(千円)	11,020	計画額	(千円)	107,892 109,300
			新事務所改修設計管理		900	業務委託料		107,892 109,300
			新事務所改修工事		10,120			
	特定	一般	特定	11,020	一般	特定	107,892 109,300	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
仕様書の作成		1	1						
プロポーザルの実施				1		1			
事務所改修工事				0		1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④		②		①	
1	2	3	④	1	2	③	4	1	②	3	4		現状維持	③		⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥				
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				B				皆減		縮小		現状維持		拡大				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												業務引継ぎにあたって、マニュアル化されていない業務が多くあるため、マニュアルの作成に時間を要す。						
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												5年間の契約金額は、539,460千円(税込) 1年毎の予算額は、107,892千円となる。						
第1次評価コメント												提案の通り実施すること。						
第2次評価コメント												—						

○事後評価

区分	年間(4月～3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	係長	氏名	林 憲男	連絡先(内線)	1218
最終評価者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長	氏名	細井 良彦	連絡先(内線)	1210

平成28年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	し尿処理施設管理費				担当課	下水道課						
概要	対象:	し尿処理施設を必要とする市民				体系	B-6-3-3					
	手段:	塩尻市衛生センターの適切な維持管理のために機械設備の点検、修繕を実施し、運転・管理業務の委託を行う。				新/継	継続					
	意図:	公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図る事業である。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○衛生センターの維持管理				○衛生センターの維持管理業務の委託				○衛生センターの維持管理業務の委託			
財源	決算額	(千円)	29,054	予算額	(千円)	10,800	計画額	(千円)	10,800			
	(嘱託員対応継続)		29,054	運転維持管理業務委託料		10,800	運転維持管理業務委託料		10,800			
	特定	2,577	一般	26,477	特定	0	一般	10,800	特定	0	一般	10,800

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
委託事業実施率(%)	0	0	0	100		100			100

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	④	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												なし					
第1次評価コメント												特になし					
第2次評価コメント												—					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	主任	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230